



SF・ファンタジー

『カザアナ』 913.6モ

森 絵都／著 朝日新聞出版

国の規制が強まり監視ドローンが飛び交う空のもと、タフに生きる中学生の里宇とその家族。一家は、不思議な力を持つ“カザアナ”と出会い、人々を笑顔にするささやかな奇跡を起こしていく。



『きつねの橋』 913.6ク

久保田 香里／著 佐竹 美保／絵 偕成社

少年時代の藤原道長の護衛をしたり、盗賊・袴垂討伐に加わったり、不遇な齋院の姫を助けたり…。平安時代、京の都。源頼光の郎党・平貞道が、妖怪きつねの葉月と活躍する物語。



『グレーテルの白い小鳥』 913.6サ

斉藤 洋／著 森泉 岳火土／絵 偕成社

図書館の相談コーナーに集まるのは、人間ばかりではないらしい。ついてくる足音、突然あらわれる小鳥、そのむかう先は？



『魔女たちは眠りを守る』 913.6ム

村山 早紀／著 KADOKAWA

古い港町に、若い魔女の娘・七瀬が帰ってきた。かたわらに使い魔の黒猫を連れて…。懸命に生きて、死んでゆくひとの子と、長い時を生きる魔女たちの出会いと別れの物語。



『赤の王 The King of Red Genies』 913.67

廣嶋 玲子／著 東京創元社

大砂漠の民の血を引くマハーン。炎を操るシャン。固い友情で結ばれていたふたりは、それぞれ王となるべく、魔法使いとなるべく、厳しい修行の日々を送り…。「青の王」「白の王」に続くナルマン年代記3部作完結。



『岸辺のヤービ』 913.6ナ

梨木 香歩／著 小沢 さかえ／画 福音館書店

あの晴れた夏の日、わたしが岸辺で出会ったのは、ふわふわの毛につつまれた、二本足で歩くハリネズミのようなふしぎな生きものでした。驚きと喜びに満ちたファンタジー。



『月の光 現代中国SFアンソロジー』 923.7ツ

ケン・リュウ／編 劉 慈欣／著 早川書房

国家のエネルギー政策に携わる男が奇妙な電話を受ける。人類と地球の絶望的な未来と、それを防ぐ処方箋を提示され…。『三体』の劉慈欣による表題作をはじめとする14作家による現代最先端の中国 SF16篇を収録。



『月のケーキ』 933.7E

ジョン・エイキン／著 三辺 律子／訳 東京創元社

月のケーキの材料は、桃にブランディにクリーム。タツノオトシゴの粉と、それから…。祖父の住む村を訪ねた少年の不思議な体験をえがく表題作など全13編を収録した、ちよっぴり不気味で幻想的な短編集。

